

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング

コード番号 6149

URL <http://www.odawara-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 伸郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 石塚 立身

(TEL) 0465-83-1122

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績 (平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	2,374	△38.2	3	△99.0	67	△83.8	571	142.9
24年12月期第3四半期	3,842	21.4	377	△18.8	413	△19.0	235	△13.6

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 667百万円(168.6%) 24年12月期第3四半期 248百万円(△4.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	97.70	—
24年12月期第3四半期	40.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	12,467	8,958	66.7
24年12月期	9,226	7,706	83.5

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 8,315百万円 24年12月期 7,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,900	13.3	200	△58.0	215	△58.5	650	189.7	111.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社(社名) ローヤル電機株式会社  
楽揚電機(深セン)有限公司、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	6,392,736株	24年12月期	6,392,736株
25年12月期3Q	539,241株	24年12月期	539,133株
25年12月期3Q	5,853,539株	24年12月期3Q	5,853,677株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社は平成25年9月10日に公表した「ローヤル電機株式会社株式等に対する公開買付けの結果及び子会社の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、平成25年9月17日付でローヤル電機株式会社を連結子会社といたしました。同社の株式取得による連結子会社化は、みなし取得日を平成25年9月30日としているため、当第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末において、企業結合日における識別可能資産及び負債の特定が未了であり取得原価の配分が完了していないため、現時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、各種政策への期待により、円安や株高が進行し、企業収益の改善や個人消費も持ち直し傾向にあるなど、景気は緩やかに回復しました。

一方世界経済は、中国では景気拡大のテンポは依然緩やかで、米国では景気は緩やかな回復傾向にあり、欧州では景気が下げ止まるなど、全体としては弱い回復が続きました。

このような状況下、当社グループは国内外で積極的な営業活動を展開したものの、幾つかの案件の売上が、第4四半期以降にずれこみ、売上高は2,374百万円(前年同四半期比38.2%減)となりました。

また、利益面につきましては、売上高の減少と、新社屋(本社・工場)の取得及び移転費用等の支出により営業利益は3百万円(前年同四半期比99.0%減)、経常利益は合弁会社からの受取配当金等で67百万円(前年同四半期比83.8%減)、平成25年9月17日付をもってローヤル電機株式会社を子会社化したことに伴い、四半期連結財務諸表上の負ののれん発生益として特別利益531百万円を計上し、四半期純利益は571百万円(前年同四半期比142.9%増)となりました。

なお、当社は、平成25年8月13日から平成25年9月9日までの間、送風機、照明等住宅関連設備、自動巻線機及び企業再生支援を主たる事業とする、ローヤル電機株式会社の株券等に対する公開買付けを行い、平成25年9月17日付で同社及びその子会社を連結子会社といたしました。今後、当社グループはモーター用巻線設備分野に、ボビン用巻線設備分野を加えた「巻線機事業」、「送風機・住設関連事業」を新たな中核事業と位置づけ、当社グループの更なる収益基盤の強化、企業価値の増大を図ってまいります。

同社の株式取得による子会社化は、みなし取得日を平成25年9月30日としているため、当第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

ローヤル電機株式会社の子会社化等により、流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.1%増加し、8,395百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,167百万円、営業投資有価証券が248百万円、商品及び製品が274百万円、仕掛品が885百万円、原材料及び貯蔵品が333百万円それぞれ増加し、有価証券(譲渡性預金)が2,299百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて210.9%増加し、4,071百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が568百万円、土地が1,124百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて35.1%増加し、12,467百万円となりました。

(負債)

ローヤル電機株式会社の子会社化等により、流動負債は、前連結会計年度末に比べて131.1%増加し、2,788百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が861百万円、短期借入金が230百万円、前受金が378百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて130.1%増加し、720百万円となりました。これは主に、退職給付引当金が288百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて130.9%増加し、3,508百万円となりました。

(純資産)

ローヤル電機株式会社の子会社化等により、純資産合計は、前連結会計年度末に比べて16.2%増加し、8,958百万円となりました。これは主に、利益剰余金が513百万円及び少数株主持分が642百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月12日付で公表した通期業績予想値については、今般修正させていただくことといたしました。詳細は、本日公表の「業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、ローヤル電機株式会社は当社が実施した公開買付けにより子会社となったため、同社及びその連結子会社5社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	3,359,185	3,355,687
受取手形及び売掛金	338,824	1,506,009
電子記録債権	155,269	57,389
有価証券	2,412,743	112,793
営業投資有価証券	—	248,835
商品及び製品	861,500	1,136,213
仕掛品	324,588	1,209,827
原材料及び貯蔵品	44,209	377,564
前払金	105,000	—
未収還付法人税等	98,582	13,380
繰延税金資産	171,689	177,176
その他	45,478	202,086
貸倒引当金	△400	△1,324
流動資産合計	7,916,672	8,395,641
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	864,314	2,142,912
減価償却累計額	△672,932	△1,382,796
建物及び構築物(純額)	191,381	760,116
機械装置及び運搬具	590,725	1,028,293
減価償却累計額	△456,750	△852,921
機械装置及び運搬具(純額)	133,975	175,372
工具、器具及び備品	316,521	959,034
減価償却累計額	△279,445	△820,407
工具、器具及び備品(純額)	37,075	138,626
土地	645,315	1,770,103
リース資産	—	44,366
減価償却累計額	—	△33,974
リース資産(純額)	—	10,391
建設仮勘定	—	220,068
有形固定資産合計	1,007,748	3,074,678
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	50,135	90,958
電話加入権	2,179	5,069
その他	231	219
無形固定資産合計	52,546	96,247
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	113,835	600,850
破産更生債権等	—	177,136
繰延税金資産	83,435	71,131
その他	52,168	111,443
貸倒引当金	—	△60,064
投資その他の資産合計	249,438	900,497
固定資産合計	1,309,733	4,071,423
資産合計	9,226,405	12,467,064

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	333,105	1,194,604
短期借入金	—	230,000
1年内返済予定の長期借入金	—	23,866
未払金	81,035	189,272
未払法人税等	87	18,932
前受金	457,109	835,939
賞与引当金	30,003	134,378
アフターサービス引当金	47,946	35,604
受注損失引当金	27,032	—
厚生年金基金脱退損失引当金	131,595	—
その他	98,778	125,782
流動負債合計	1,206,694	2,788,380
固定負債		
繰延税金負債	194	47,584
退職給付引当金	16,374	305,026
役員退職慰労引当金	296,480	314,397
資産除去債務	—	32,983
その他	—	20,343
固定負債合計	313,048	720,335
負債合計	1,519,742	3,508,715
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,580,813	1,580,813
利益剰余金	5,503,104	6,016,434
自己株式	△421,141	△421,215
株主資本合計	7,913,593	8,426,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,563	64,180
繰延ヘッジ損益	—	145
為替換算調整勘定	△240,493	△175,696
その他の包括利益累計額合計	△206,930	△111,370
新株予約権	—	100
少数株主持分	—	642,770
純資産合計	7,706,662	8,958,348
負債純資産合計	9,226,405	12,467,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,842,869	2,374,086
売上原価	2,794,774	1,631,906
売上総利益	1,048,095	742,180
販売費及び一般管理費	670,544	738,534
営業利益	377,551	3,645
営業外収益		
受取利息	6,047	3,354
受取配当金	25,673	48,230
その他	5,033	11,842
営業外収益合計	36,754	63,427
営業外費用		
為替差損	766	—
営業外費用合計	766	—
経常利益	413,538	67,072
特別利益		
固定資産売却益	3	—
負ののれん発生益	—	531,867
特別利益合計	3	531,867
特別損失		
固定資産除却損	325	460
減損損失	3,543	—
特別損失合計	3,868	460
税金等調整前四半期純利益	409,673	598,478
法人税、住民税及び事業税	141,121	35,644
法人税等調整額	33,079	△9,031
法人税等合計	174,201	26,613
少数株主損益調整前四半期純利益	235,472	571,865
四半期純利益	235,472	571,865

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	235,472	571,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,537	30,617
繰延ヘッジ損益	△295	145
為替換算調整勘定	7,776	64,797
その他の包括利益合計	13,018	95,559
四半期包括利益	248,491	667,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248,491	667,425

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

当社グループは、モーター用巻線設備の開発、設計・製造、販売を行う単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,374,086	—	2,374,086	—	2,374,086	—	2,374,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,374,086	—	2,374,086	—	2,374,086	—	2,374,086
セグメント利益	3,645	—	3,645	—	3,645	—	3,645

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企業再生支援事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間に、ローヤル電機株式会社の株式を取得したことにより、同社及び同社の連結子会社5社を連結の範囲に加えております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントの資産の金額は、「巻線機事業」855,994千円、「送風機・住設関連事業」4,011,009千円及び「その他」525,526千円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期連結会計期間より、ローヤル電機株式会社及び同社の連結子会社5社が連結子会社となったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の単一のセグメントから、「巻線機事業」「送風機・住設関連事業」に変更しております。

なお、みなし取得日を平成25年9月30日としているため、当第3四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「巻線機事業」及び「送風機・住設関連事業」において、ローヤル電機株式会社の株式を取得したことにより、当第3四半期連結累計期間において、負ののれん発生益531,867千円を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。